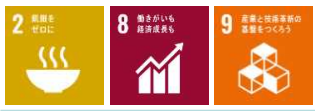


釧路港湾事務所におけるSDGsの達成に資する取組について

私ども釧路港湾事務所では、以下の取組をはじめとする各種取組を通じてSDGs(持続可能な開発目標)の達成に貢献するとともに、釧路港や十勝港の港湾整備と港湾振興活動を通じ、地域の一層の発展を図って参ります。



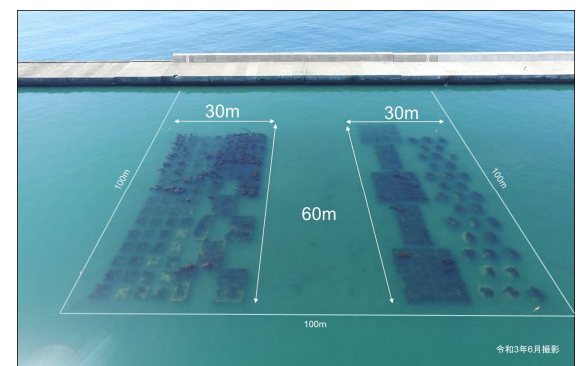
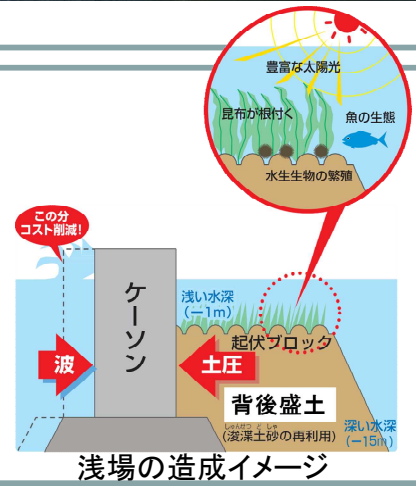
日本の持続的な食糧生産を支える

日本の食糧生産基地を背後圏に持つ釧路港や十勝港は、農畜産物の低コスト化・高品質化に欠かせない飼料原料を輸送する大型貨物船が着岸する大水深岸壁等の整備を実施しており、周辺で飼料工場等が操業を開始するなど民間投資も進んでいます。現在は貨物船が安全に入港できるよう、防波堤整備と港内の海底を掘り下げる泊地の整備を実施しています。

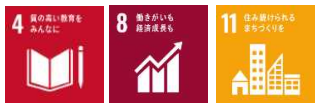


カーボンニュートラルの実現を目指して

釧路港の島防波堤は、環境に配慮した防波堤として、浚渫(しゅんせつ)土砂を再利用した背後盛土により浅場を造成し、藻場を創出する機能を持った防波堤工事を実施しています。近年、ブルーカーボンと言われる藻場によるCO₂の吸収効果が世界的に注目されており、島防波堤での吸収量を算定したところ、単位面積あたりで森林の2.4倍のCO₂貯留効果があると推計されました。今後も引き続き、より良い環境創造、ブルーカーボンによる脱炭素社会の実現をめざしていきます。



浅場における藻場の生育状況(試験区間)



みなとを核とした魅力あるまちづくり

釧路港湾事務所では、周辺の学校や市民などを対象に港湾施設や船舶等の「みなと見学会」「出前講座」を開催し、港の役割に関することなどについて紹介しています。また、クルーズ船の寄港時のおもてなし活動を「釧路みなとオアシス協議会」と積極的に協力しながら進めています。このような取り組みを通じてみなとを核としたまちづくりにも貢献していきます。



【目標】 2022年度5回→2023年度5回 ※みなと見学会+出前講座